

2007年
1月1日
No.11

さざなみ

〒520-0043
大津市中央1丁目5-25
小堀マンション2030号室
さざなみネット
(全国金融一般労働組合滋賀支部)
TEL・FAX 077-522-7868

新年 あけましておめでとうございます。

昨年は劇的な年でした。金融3単産が合同し、全国の金融労働者5000人の仲間がいっしょになり、金融労連という大きな組織になりました。また金融労連初の全国集会として「女性のつどい」が開催され、さざなみネットからも参加し、新鮮な若い仲間の意見を聞かせていただきました。

A銀行の労働者からの労働相談を契機として、滋賀金融一般労働組合（愛称・さざなみネット）は、全国金融一般労働組合となり、私たち「さざなみネット」は、その滋賀支部となりました。

幅広い仲間からの労働相談など取り組むなかで、新しい仲間を迎えることができました。

本年は、金融労連・近畿地協の結成、個人加盟労組の合同など、組織が整備され、金融労連として本格的に活動します。だれでも自由に入れる個人加盟の組合が重要になってきています。気軽に相談でき、少しでも働きやすい職場、働きがいのある職場作りをめざして、頑張ります。引き続きご支援をよろしくお願いいたします。



組合員の「今年の抱負」

キーポイントは健康と平和です。楽しくスイミングで健康作りを！憲法九条は最後の平和の砦 平和と暮らしを守る大きな世論を！



健康で、好きな山登りがしたい。中国の北京に行きたい。趣味で習っている水墨画が上達します様に。



岩波美智子さん 画



健康に注意して、周囲の目を気にせず、おおいに駆け巡り、出会い 興味 挑戦 力に挑みたい。



貧困と社会的格差の打開を 逆立ち税制をただし、人間らしい労働のルールの確立を

2006京都滋賀機関紙コンクール
(主催 日本機関紙協会京滋地方本部)

「さわなみ」佳作 受賞

参加紙批評

金融労連という新しい結集体の誕生が、滋賀県の金融産業に働く労働者に励ましを与えています。「職場の声」の欄が、それぞれの職場の実態を描き出しています。この記事が力となって、組織拡大に結びついていくことを願わずにいられます。職場のつばやきが載っているのがいいです。「雇止め」を怒る生保の高梨さん。セクハラで悩む女性の相談にのっている話。「女性のつどい」での経験談 など。運動の進化と拡大がみえてきます。

現在、あらゆる産業と職場で過密労働・長時間労働が進化し、非正規労働者が多数使用される実態が広がっています。さまざまな理屈をつけて、人件費抑制の宣伝と労働をより過密にする仕組みが広がっています。悩みや要求が潜在化して、「声」を出しにくくなっています。このような宣伝や攻撃に反撃し、仲間を励まして、解決の方向を示せるのが機関紙です。読者の身近な単位で発行される機関紙・職場新聞が、当局や資本のネフィイを暴露し、批判を加えていくことで仲間は元気づけられるのです。

(文・一部省略)